

開会の辞

日本語教育センターシンポジウム 2021

グローバル化時代の 言語教育を考える

～グローバル・コンピテンス育成の視点から～



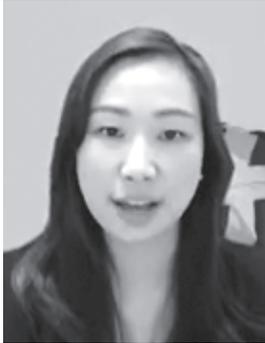
日本語教育センター
副センター長、観光学部教授
韓 志昊

○任 皆様、本日はお忙しい中、立教大学日本語教育センターシンポジウム2021にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会進行役を務めさせていただきます、日本語教育センター員の任ジェヒと申します。よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに開会のご挨拶を頂戴いたします。立教大学日本語教育センター副センター長、観光学部教授の韓志昊先生、よろしくお願いいたします。

○韓 任先生、ありがとうございます。皆様、こんにちは。日本語教育センター副センター長を務めている観光学部の韓志昊です。本日はご多忙の中、本学の日本語教育センター主催の公開シンポジウム「グローバル化時代の言語教育を考えるーグローバル・コンピテンス育成の視点からー」にご参加いただきまして深くお礼申し上げます。昨年度に続きオンラインでの開催となりまして対面でお会いできないのは残念なのですが、丸山センター長はじめ先生方と事務局の皆様のご尽力により、本年度のシンポジウムも開催できることをうれしく思います。

本日のシンポジウムは2022年9月より開始する本学の新しい外国人留学生受け入れ制度、立教スタディプロジェクト事業を見据えて、2018年度から議論を続けてきました。シリーズ企画の正規学部留学生受け入れ新時代の第4回となります。今までの3回のシンポジウムでは、日本語と英語教育を中心に議論してきたのですが、本日は中国語とドイツ語の教育、これからの外国語教育が目指すべき方向性、本学の日本語教育センターが新しく試みる日本語教育についてお話を伺い、言語教育を通したグローバル・コンピテンス育成について一緒に考える貴重な機会となると思います。ご参加いただいている皆様と有意義な議



日本語教育センター員
任 ジェヒ

論が行われることを心より期待しまして、開会の辞といたします。ありがとうございます。

○任 韓先生、ありがとうございました。それでは、本日の流れをご説明します。本日のシンポジウムのテーマは、「グローバル化時代の言語教育を考えるーグローバル・コンピテンス育成の視点からー」です。まず、本シンポジウムのコーディネーター、日本語教育センター長、異文化コミュニケーション学部教授の丸山千歌先生から、本シンポジウムの趣旨をご説明いただきます。丸山先生、どうぞよろしく願いいたします。